

Event

市内の催し物情報を発信

イベントスケジュール

2日⑩ まちの駅マルシェ

鯖寿司や野菜などの販売、若狭塗箸の端材「べっちゃん」を用いた作品展示のほか、劇団久須夜の無観客公演「花あやめから海を眺めてー悲劇の駆逐艦・榎一」を収録したDVDの上映会を行います。

■ 販売・作品展示など

時 10時～ 所 まちの駅（白鬚）

■ DVD上映会

時 ①9時30分～ ②13時30分～ 所 まちの駅旭座（白鬚）

※①②とも内容は同じ。各回50席限定。上映時間約2時間

金 無料

問 まちの駅 ☎ 52・2000

9日⑩ もっと知ろう 小浜の歴史と文化①

観光ボランティアガイド「若狭の語り部」が小浜の歴史と文化を学ぶ講座を年間で10回開催します。

地域の新たな魅力を発見する感動を共有しませんか。この講座は、「市制施行70周年記念市民提案事業」として実施します。

時 13時30分～ 所 若狭歴史博物館（遠敷二丁目）

申 5月6日⑩までに要事前申込。先着30人

金 無料

問 観光ボランティアガイド若狭の語り部 担当 松木さん

☎ 090・2121・5209

メール vqmg29235@zeus.eonet.ne.jp

15日⑩ 観世流謡曲仕舞 武田謡楽会 春季大会

県内外の能楽愛好者が参加して、能楽の謡曲と仕舞の発表会を行い、成果を披露します。若狭高校書道部による作品「世阿弥の言葉」も展示します。

時 9時30分～ 所 文化会館（大手町）

金 無料

問 小浜謡楽会 代表 村山典子さん

☎ 090・8703・5939

凡例

時 = 時間 所 = 場所 対 = 対象 内 = 内容

金 = 料金 申 = 申込締切、定員など

問 = 問い合わせ先、申し込み先

24日⑩～28日⑤ つきイチ「バラエティー」

絵画サークル若狭の会員による絵画作品展を行います。

時 9時～17時（28日⑤は16時まで）

所 市庁舎 市民ホール（大手町）

金 無料

絵画サークル若狭 会員募集

一緒に絵を描くことを楽しみませんか。

毎週2・4水曜日に中央公民館で活動しています。

問 絵画サークル若狭 代表 松岡信吾さん ☎ 53・2128

30日⑩ 春と一緒に登りませんか～若狭駒ヶ岳～

河内川ダムから、若狭駒ヶ岳を往復する登山を行います。

時 受付 7時40分～8時 下山予定 14時30分

所 道の駅若狭熊川宿（若狭町）で受付

内 登山

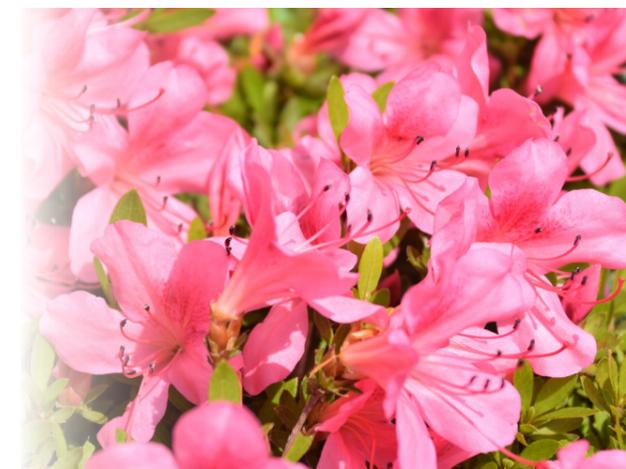
対 小学5年生以上

申 5月26日⑩までに要事前申込。先着20人

金 500円

問 小浜山の会 事務局 井上さん 電話 FAX とも 77・1660

もしくは小浜山の会 HP から



今月号は
とくがわ たかふみ
徳川 貴文
がお届けします



地域おこし協力隊が、日々の活動や感じたことをレポート！

隊員たちのよもやま日誌

2年目に向けて

活動の幅を広げたい

私が活動拠点として運営に携わるレス・トラン＆宿泊施設「海のオーベルジュ志積」が全面開業して半年がたちました。施設の立ち上げと運営に関わる中で、さまざまな人から多くの支援を頂きながらも、コロナ禍や緊急事態宣言による影響もあり、計画通りに物事を進められないことの方が多かったように思います。

オープンして間もない上、社会情勢が刻々と変化する中での運営に、悪戦苦闘する毎日を送っています。一方で、「こんな特別な状況を一気に経験できる機会がめったに無い」と前向きに捉え、日々の業務にまい進しています。

地域おこし協力隊員になって早1年。これまでは施設の土台づくりという「内」を固める活動が中心で、志積にこもりがちでした。

2年目となる今年は、苦しい状況でも踏ん張れる土台を築き、徐々に「外」向けの情報発信や、地域の人たちとの協働ができるよう、少しずつ活動の幅を広げていきたいと思っています。



「外」での活動の1つとして、海洋ごみを原材料にした器（写真左）やアクセサリー（同右）などを創り出す「アップサイクル体験プログラム」を企画中です。

健康 生活のたびら

脳動脈瘤について

脳動脈瘤とは

脳外科医が手術を行う代表的な疾患の一つに、脳動脈瘤があります。脳動脈瘤とは、頭の血管の壁が盛り上がり、こぶ状になったものことです。こぶは、約30人に1人の割合で見つかります。こぶが破裂すると、くも膜下出血が起こります。

脳動脈瘤の治療

脳動脈瘤の治療は、こぶへの血流を遮断し破裂を防ぐことです。当院では血管内治療を中心に行っています。具体的には、足の付け根にある動脈からカテーテル（医療器具）を挿入し、頭の血管の中まで押し進め、こぶの中にとっても柔らかく細い金属の糸（コイル）を充填する「脳動脈瘤コイル塞栓術」で、こぶの破裂を防ぎます。

急速に進む医療機器開発

脳血管内治療は、ここ数十年の間で急速に医療機器開発が進み、



杉田玄白記念 公立小浜病院

■問い合わせ ☎ 52・0990

脳神経外科

田井克英 医師

発展しています。その最先端を行く、「WEB」と呼ばれる脳動脈瘤内留置機器での治療は、従来の方法では治療が難しい形状にも、より安全に対応できる可能性がでてきました。欧米では先んじて使用されておりますが、日本ではまだ治療段階であり、一般的に普及するにはまだ少し先になります。

まずは発見が第一

脳動脈瘤は、全てが治療対象となるわけではありません。こぶの大きさや部位・形状、また年齢や健康状態などさまざまな条件を踏まえ、治療の選択をすることを勧めます。

まずは発見が第一です。脳動脈瘤の有無は、頭部MRI検査で調べることができます。検査などについては、当院の脳外科外来で、相談に応じます。

数種類のコメヤソバ、ムギを作り出荷している株式会社若狭の恵(加茂)。田んぼで稲を育てる「水稲」を担当するのが、伊勢さんです。伊勢さんは、高校で農業を学び、卒業後同社へ。「農業を仕事にしたいと思った」と、話します。

現在は、土の具合を整える田起こしなどを経て、田植えに臨む農繁期。伊勢さんは、「水を入れるタイミングを考えながら土を耕す、肥料の特性を理解するなど、農業の知識を増やして効率良く仕事ができる」と、やり

しっかり考えて行動する



勤務先 株式会社若狭の恵
伊勢 亮太 さん
(21歳・甲ヶ崎)

がいを感じます」と、笑顔を見せます。収穫に向けて、「いっぱい実ってほしいと思いつながら育てます」と、語る伊勢さん。「育てたお米は、学校給食にも出荷しています。子どもたちに届いていると思うとうれしい」と、思いをのぞかせます。

仕事を始めて3年が経過した伊勢さんは、今後について、「1年の流れは把握しているのでもっと農業の知識を身に付け、自分でしっかり考えて次の行動ができるようにしたい」と、熱意を語ってくれました。

団結して試合に臨みたい

小浜中学校男子バスケットボール部では、2・3年生合わせて14人の部員が、元気に練習を行っています。キャプテンの柚木くんは、先輩が競技をする姿に憧れて入部。「どんな人が相手でも、固い守りでボールを止める先輩を見て格好いいと思います。僕も先輩みたいになりたい」と、笑顔を見せます。

キャプテンとして、「以前より、周りを見ることができるようになりました」と話す柚木くん。部員の競技経験が異なることに気を配り、「みんな



男子バスケットボール部 キャプテン
柚木 崇佑 くん
(小浜中学校3年生)

なでできる練習方法を、顧問の先生に提案しています」と、語ります。顧問の先生は、「部の課題に正面から向き合い、一生懸命勉強してチームの練習に生かしている」と、柚木くんの姿勢を評価します。

今後の部の目標について、柚木くんは、「6月に行われる地区大会で優勝して、県大会でも勝利を収めること」と話し、「バスケットボールはチーム競技。最後まであきらめずに、団結して試合に臨みたいですね」と、意気込みを語ってくれました。

みんなの笑顔と聖火をつなぐ

5月29日④にいよいよ市内を走る、東京五輪の聖火リレー。市民から公募で走者に選ばれたのが、五輪くん(写真左)と堂下さん(同右)です。スポーツ好きの五輪くんは、小学生の頃から水泳やサッカーなどを経験。現在は小浜第二中学校の陸上部で、長距離走や幅跳びに取り組んでいます。

一方、「子どもの頃はスポーツが大の苦手だった」という堂下さん。アテネ五輪金メダリストの野口みずき選手に憧れてマラソンを始め、今では夫婦でフルマラソンを走る健脚ぶりです。

2人に聖火リレーへの意気込みを尋ねると、口をそろえるのが、周囲の人々への感謝や思い。

五輪くんは、「走者に決まった時、クラスのみんなが拍手で祝ってくれた」と照れ笑いを見せ、「みんなを笑顔にできるように、堂々と笑顔で走りたい」と話してくれました。

また、堂下さんは、「地元での聖火リレーは、見る方も走る方も一生の思い出になる。みんなに聖火がよく見えるように走り、次の走者へつなごう」と話してくれました。



東京2020オリンピック 聖火ランナー
五輪 叶 くん 堂下 明子 さん
(小浜第二中学校3年生) (54歳・四谷町)

1日1日の練習を大切に

若狭東高校レスリング部には、2・3年生の8人が所属。道場に快活な声を響かせながら、日々の練習に打ち込んでいます。

キャプテンの勝野くんは、中学時代の柔道部の先輩に誘われて入部。経験を生かした投げ技が得意ですが、「試合では、相手のスタイルなどに応じて技のかけやすさも違う。得意技を磨くだけでは勝てない」と、現在は特に相手の足元を狙うタックルの練習に力を入れています。

「自分の努力がそのまま成果に表れ

るのが格闘技の魅力」と語る勝野くん。「練習を重ねた技が、それまで通しなかった相手に通じた瞬間が楽しい」と笑顔で話します。

同部は現在、8月に県内で開催される全国高校総体(1・H)に向けて、練習時間を普段より増やして強化中。大会に向けて、勝野くんは「県内の強豪校を倒して県予選を1位で勝ち抜き、1Hでも勝利を挙げることが目標。そのためには、1日1日の練習を大切に組みたい」と、決意を語ってくれました。



レスリング部 キャプテン
勝野 大雅 くん
(若狭東高校3年生)